

函館駅前・西部地区花いっぱい業務
プロポーザル提案書【抜粋】

受託候補者

代表法人 株式会社 桔梗造園

構 成 員 特定非営利活動法人 スプリングボードユニティ21

函館駅前・西部地区
花いっぱい業務
提案書



五感で楽しむナチュララ花壇



駅前 EKIMAE

SEIBU 西部



1 夏 函館駅前 花壇青～紫色系



2 夏 中樞港通花壇



3 夏 末広6号線
フラワーバスケット



4 夏 末広6号線
フラワーバスケット



5 夏 八幡坂通
フラワーバスケット



6 夏 八幡坂通
フラワーバスケット



函館駅前・西部地区花いっぱい業務 提案書

●2003年より現駅舎になる



●2021年夏現在 変化し続ける函館駅前花壇の様子



「ガーデンシティ函館」は質の高い都市空間の形成に向け、西部地区から函館駅前地区・大門地区を花と緑の彩りで、市民はもとより観光で訪れる国内外の方々にも美しい・楽しいまちと感じてもらうことであり、私たちはその実現に向け提案いたします。

函館駅前から西部地区八幡坂通りまでの街路灯にフラワーバスケット装飾を行い、花で両地区を違和感のないように繋ぎます。

以前までは全ての路線が同一の花苗の組み合わせによる装飾となっていました。当コンソーシアムでは、路線ごとに色合いを変え、先々の視線誘導に繋げることで広く楽しく散策することができるような装飾を提案いたします。

函館市民が私たちのつくる花壇やフラワーバスケットを觀賞し、そこで得た花の知識を活用して花づくりを楽しみ、それがまち並みの景観や魅力をより向上させることに繋がっていくような花と緑の「ガーデンシティ函館」を目指します。

函館は特殊な地形で太平洋側と日本海側から吹いてくる強い潮風ありますので、使用する花苗は潮風に耐える強い種類を選択して植栽します。同じ花の種類でも色合いを変えて、雰囲気に変化がしながらも統一感を作り出し、周りの建築物の色や日照条件などを十分に考慮した上で、その場に調和する色合いの植栽を行い、歩行者が楽しみながら觀賞できる装飾にします。

函館は全国都市観光意欲度ランキング（ブランド総業研究所調べ）において、2020年札幌市と同点の一位となりましたので、これを糧に常に市民はもとより観光客の方の期待に応えられるよう、来て良かったと思える魅力的な植栽を目指します。

ここ2年ほどは新型コロナウイルス感染により、観光客の減少とともに市民の街なかへの流れも減少しているなかこの状況が少しずつ回復傾向になり、今後、函館港若松ふ頭頭の整備が整ったなか、9万トン級の船が接岸が可能する時期が来て、大型クルーズ船の入港が予定されることになりましたら、国内外の観光客の方々をいつでも花と緑で迎えて感動していただくことを目指します。

観光市場である函館朝市にもフラワーバスケット装飾をおこない、歩く目線でも華やかな通りとなり、より一層の花の魅力で印象付けします。

函館駅前から大門地区の見通しがアーケード撤去によってよくなり、遠くの商店街まで目に入るようになりました。これにより以前よりも購買意欲はもとより、飲食店等へも立ち寄りやすく感じられるようになりました。



西部地区ベイエリア周辺は道路や歩道も整備され、多くの歩行者に利用されることから、歩道には車椅子利用の方も間近で觀賞できる大型の花壇が4か所設置され、宿根草が植えられております。ただ春先は宿根草の発芽が遅いため、春の大型連休には花のない淋しい状態が現状です。そこで新たに秋植え球根を植栽し、早春からは球根が、晩春からは宿根草が楽しめるような花壇とします。

(初年度については春初めに一年草を植えてカバーします。)

●フラワーバスケットイメージ



【ベイエリア】
ここはレンガ倉庫の壁と岸壁係留のイカ釣り船のバックで函館らしい撮影スポットになっております。



【八幡坂通】
八幡坂通りのフラワーバスケットは木陰の多い場所なので明度が高い花苗と彩度の高い花苗を組み合わせ、より華やかなフラワーバスケットになるようにします。

函館駅前花壇通路には駅舎を背にして大型ガーデンコンテナの列植置きで、さらに大門地区への視線誘導に繋がるような、華やかな植栽とします。



1. 「ガーデンシティ函館」のコンセプト

「ガーデンシティ函館」 駅前・大門地区

新函館北斗新幹線開業により全国各地から多くの観光客の方やビジネスでお越しの方々が函館市内中心街へと足を運ばれる中、また若松ふ頭整備も整い今後は大型クルーズ船からのお客様も函館駅前周辺に観光で訪れることでしょう。そうした中お客様に心地よい印象を与えるべく、**函館駅前花壇**を華やかで楽しい時間の過ごせる場所とし、さらにこの場所が市民や観光客の交流の場として活用してもらえよう多くのベンチの設置と撮影スポットの場を設けます。

以前より植栽している**ツルバラ**については、年々ボリュームが増えてきて、満開の時は花の香りを楽しむ方や、撮影スポットになっております。今回その期待に応えられるよう滞在時間も長く、そして楽しく過ごしていただける花壇となるよう多品種・多色の花を植えます。



函館朝市周辺は華やかなフラワーバスケットでより印象付けます。

「ガーデンシティ函館」 西部地区

函館西部地区は、1854年にまだ箱館と呼ばれていた函館がその後1859年には横浜・長崎とともに貿易港として開港されたことで他国の文化が入り込み、和洋折衷の建築物を觀に来られる多くの観光客の方が行き交う場所になっております。レトロな街路灯の設置があり、その街路灯にはフラワーバスケットによる装飾を施しています。

ペイエリアをはじめ西部地区の多くにはレンガの壁があり、調和の取れた色合いのフラワーバスケットが飾られ、そして時には人力車が行き交い、異国情緒と歴史ある風景をつくり出した撮影スポットになっております。

西部地区のフラワーバスケットは路線ごとに、建物の色合いや日照条件の違いで、各々の場所に適した花種や花色の組み合わせをおこない、人々が先々に行き交うような視線誘導で広く散策が楽しめるような植栽とします。

中臨港通花壇にはすでに宿根草のみですが、色彩と香りを楽しむ植物が植えられており、歩行者の方には、見て香りも楽しめる花壇となっています。更にここへ、一年草や春咲き球根を植えて、春先から秋まで長い期間花を觀賞できるように花壇へと変化させていきます。



花壇① 赤～桃色系



花壇② 黄～橙色系



花壇③ 青～紫色系

2. 春から秋にかけて絶え間なくボリュームを持った花を彩るデザイン

4月
春の花苗
植栽

4月下旬から寒さに強い春の花苗の植栽を行い、春の大型連休前には函館駅前花壇及びフラワーバスケット装飾を完成させて、市民の方や観光で訪れる方々にたくさんの花の彩りや、香りを楽しんでいただける心地の良い場所となるようにします。

5月
装飾完成

函館駅前花壇の初年度はコンテナのみチューリップの植栽で、大型連休には一年草とチューリップの開花で楽しめるようにします。2年目からは、花壇にも春咲き球根と一年草で、よりボリュームアップした華やかな花壇にします。

6月
夏の花苗
植栽

春咲き球根は水仙やクロッカスと植えたままでも数年開花するものも植栽します。チューリップについては初夏の撤去時に、次年度にも開花できる充実した球根を振り分けして保存し、できるだけ捨てることなく翌年の花壇に使用いたします。(開港通根草花壇にも植栽を予定します。)

秋
ボリュームのある花壇

6月中旬から下旬にかけて函館駅前花壇及びフラワーバスケットは、夏花苗に切り替えて植栽します。6月中旬には花壇内のラベンダーの開花もピークとなって北海道らしい景色が見られ、観光客の多くの方が撮影しております。またバラの開花も始まり、華やかさが増してくる時期になります。秋までさらなるボリュームで花の開花が絶えることのない花壇とします。

3. 鮮やかな彩りの花による、華やかなデザイン

函館駅前花壇については、①②③の花壇については色合いを同系色にして同じ花の種類でも色合いを変えて雰囲気の変化がありながらも統一感を作りだし、単調にならないような鮮やかな色彩の花壇にします。

④⑤の花壇は車窓や歩行者が見る花壇になりますので、走行時の速度でも歩きながらでも、花の色の楽しめる鮮やかな色彩の面が交互に連続するような花壇とします。

花壇内の木製花壇や木製オベリスク等も塗装の色を花壇ごと変えて花の色に更に彩りを加えて華やかになるようにします。



①の花壇
木製ガーデンライト吊り下げ

②の花壇
木製パレット花壇

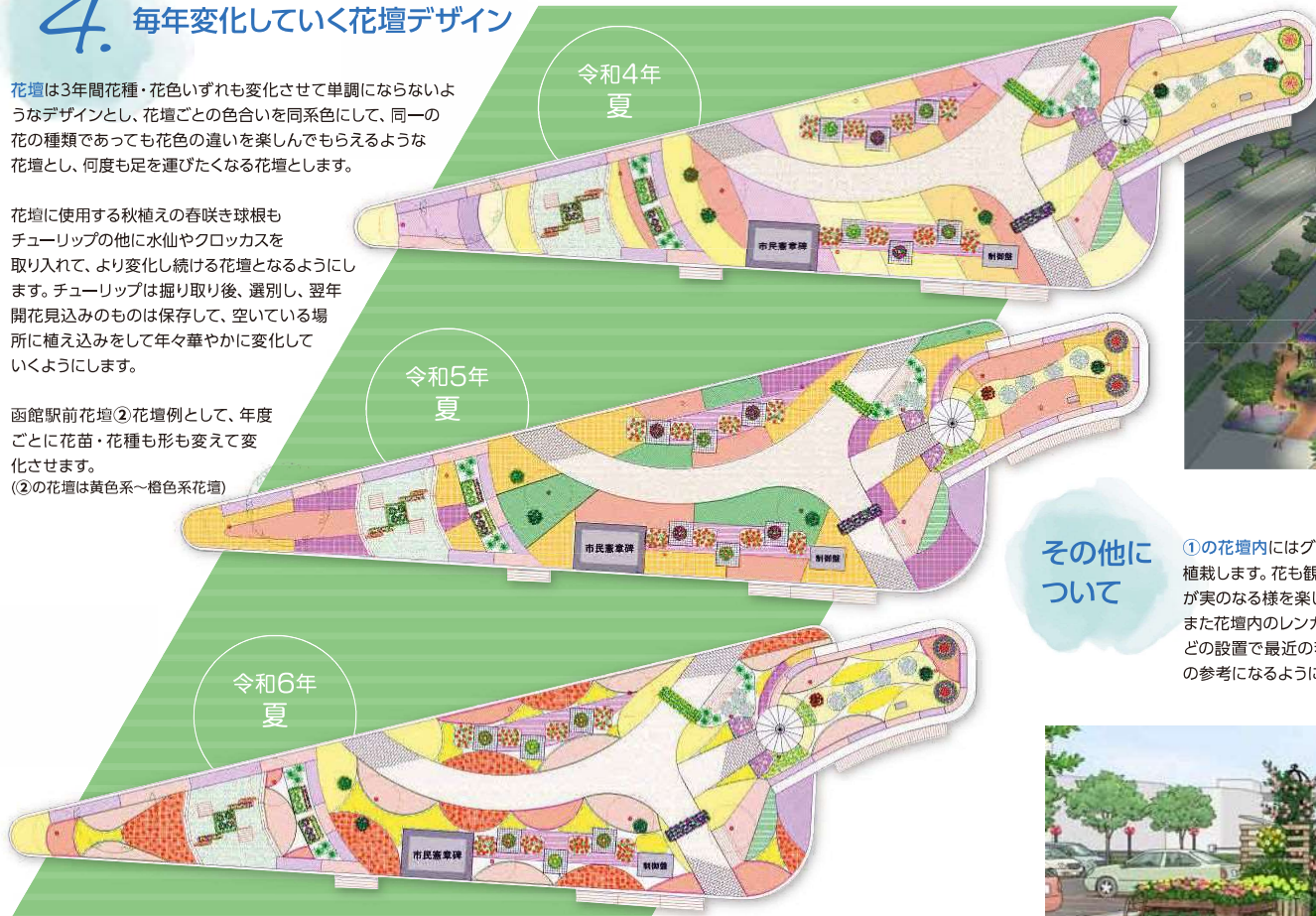
③の花壇
木製オベリスク

4. 毎年変化していく花壇デザイン

花壇は3年間花種・花色いずれも変化させて単調にならないようなデザインとし、花壇ごとの色合いを同系色にして、同一の花の種類であっても花色の違いを楽しんでもらえるような花壇とし、何度も足を運びたいくなる花壇とします。

花壇に使用する秋植えの春咲き球根もチューリップの他に水仙やクロッカスを取り入れて、より変化し続ける花壇となるようにします。チューリップは掘り取り後、選別し、翌年開花見込みのものは保存して、空いている場所に植え込みをして年々華やかに変化していくようにします。

函館駅前花壇②花壇例として、年度ごとに花苗・花種も形も変えて変化させます。
(②の花壇は黄色系～橙色系花壇)



フラワーバスケットの花苗は毎年、函館駅前花壇のフラワーバスケットに使用する花苗のメインの花を使用し、花色は路線ごとに变えて、統一感がありながらも花色や葉色を変え場所ごとに色彩を変化させたフラワーバスケットにします。

令和4年夏のフラワーバスケットの例ですが、使用する花苗の種類は同じでも花色や葉色の変化で違う雰囲気を楽しめるようにします。



夏 末広6号線フラワーバスケット



夏 末広6号線フラワーバスケット



夏 八幡坂通フラワーバスケット

5. 夜の花壇を明るく彩る花のデザイン



花壇内のライトアップは前回使用した機材は全て使用します。更に新しく、①の花壇内にはナチュラルな色合いでデザインした木材のオブジェにソーラーライトを吊り下げ、小さなエネルギー対策ですが自然エネルギーを利用をし、電気量の削減とします。

花壇内ではライトアップによる夜の花の陰影など幻想的に映し出される花壇とし、日中とはまた別な楽しさを感じてもらえるような花壇とします。



その他について

①の花壇内にはグランドカバー的に雑草防止にもなるワイルドストロベリーを植栽します。花も観賞出来ませんが実も食べることができます。小さなイチゴですが実のなる様を楽しんでもらえたらと思います。また花壇内のレンガ通路と調和のとれたレンガ花台や昔懐かしい荷車の車輪などの設置で最近の若い方の人気のガーデン雑貨なども使用し、市民の庭づくりの参考になるようにし、何度も足を運び見に来たいくなるような花壇とします。



②の花壇には本来であれば捨てられてしまうような廃材パレットを加工塗装し再利用し、少しでも廃棄処分の削減に繋がるようにします。また木材加工花壇でガーデニングに役立ててもらい市民の花壇作りへの意欲が高まり、まち全体に華やかさが増すことに繋がっていくようにします。

②の花壇の一部には人工芝を敷いているので、座ってくつろぐこともでき、ゆっくりとした時間を過ごせる場にもなります。子供たちや大人の憩いの場となり、多世代が広く利用できる場となるようにします。

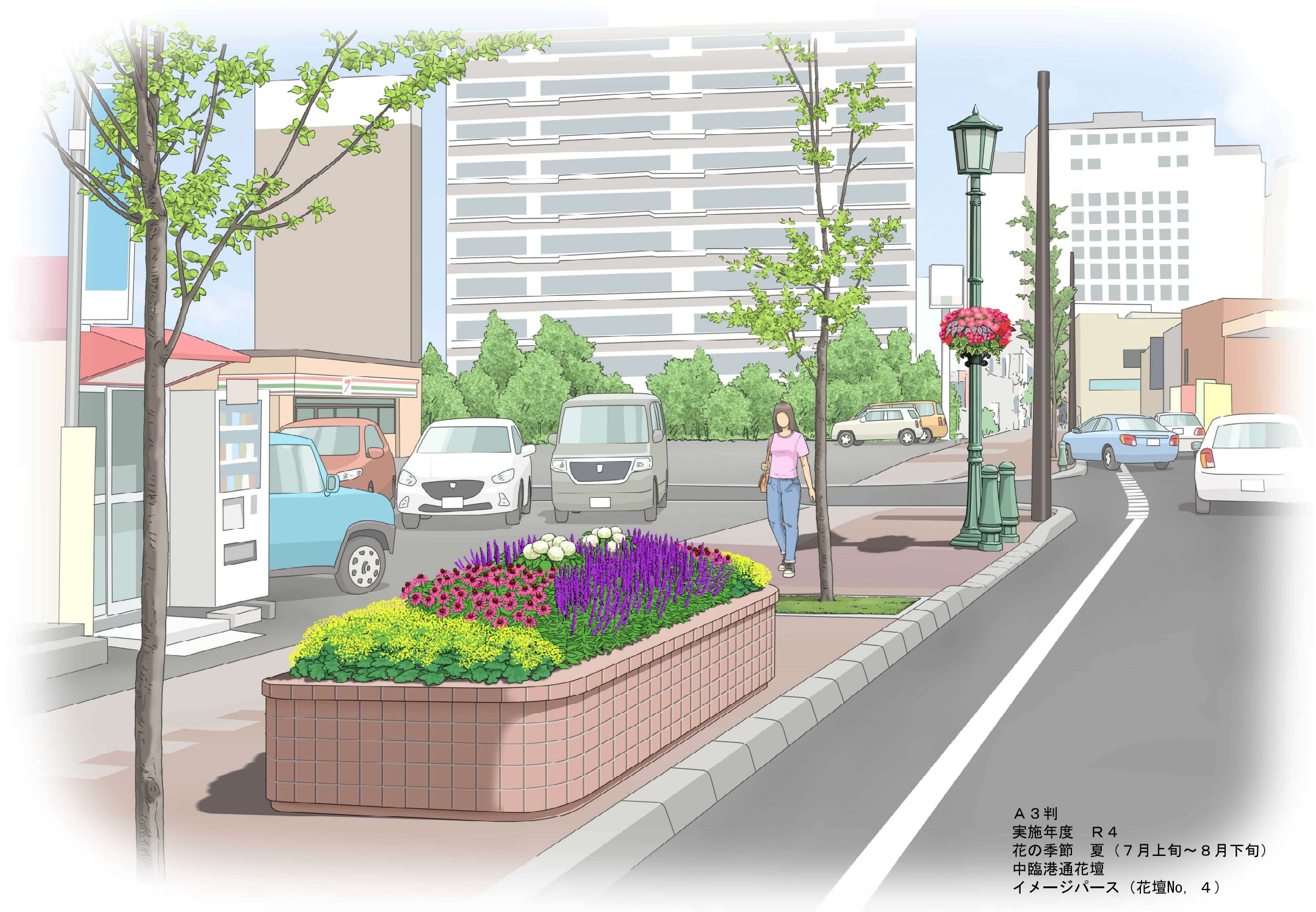
③の花壇には以前にもありました「HAKODATE」の文字のオブジェの部分は今回、ナチュラルな木材で新たに加工作成し、木製ベンチも設置し写真撮影スポットになるようにします。また、その両サイドには木製コンテナを作り、ハーブ苗などの植え込みをし、観て、触れて、食べたり香りを楽しんで、更に木材のぬくもりを感じる場となるようにします。

木製フェンス風の垣根には、毎年コンテナやフラワーバスケットに使用し廃棄処分していたアイビーを撤去時に当コンソーシアムの園芸店舗ハウス内で保存し、翌年植栽をして苗を絡ませ年々成長させ、緑の垣根になるよう再利用することで、花と緑でいっぱいになるような花壇を目指します。





A 3判
実施年度 R 4
花の季節 夏（7月上旬～8月下旬）
函館駅前広場
イメージパース（鳥瞰図）



A 3 判
実施年度 R 4
花の季節 夏（7月上旬～8月下旬）
中臨港通花壇
イメージパース（花壇No. 4）



末広6号線フラワーバスケット



末広1号線フラワーバスケット

A 3判
実施年度 R 4
花の季節 夏（7月上旬～8月下旬）
フラワーバスケット
イメージパース（末広1号線・6号線）



八幡坂通フラワーバスケット



八幡坂通フラワーバスケット

A 3判
実施年度 R 4
花の季節 夏（7月上旬～8月下旬）
フラワーバスケット
イメージパース（八幡坂通）